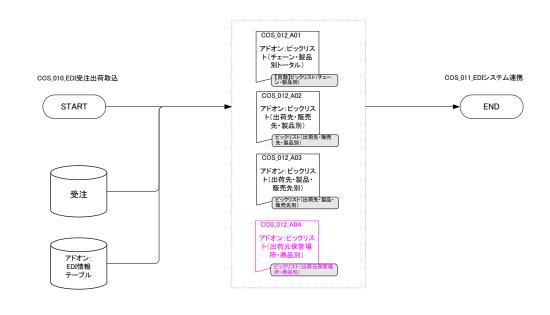
<u>処理概要</u> EDI受注に対して出荷作業を行うために、各種ピッキングリストを出力する ビッキングリストは下記・バターンが存在し、①~③までは顧客によってどのピッキングリストを出力するか判別される。④に関しては、営業員が営業車に商品を積み込む為に使用するピックリストとなる。 ①ピックリスト(エーン・製品別トータル) ②ピックリスト(出荷先・製品別) ③ピックリスト(出荷先・製品別) ③ピックリスト(出荷売・製品別) システム利用者 拠点内務担当者、システム管理者 <u>処理タイミング、その他</u> 手動による随時実行

・ステムフロセスフロ 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを 明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

